

千葉県立清水高等学校

育てたい生徒像

ものづくりの専門知識・確かな技術と熱意を持ち、高校で得た資格を生かして、社会で有用とされる人物。

スクール・ポリシー

「育成を目指す資質・能力に関する方針」

ものづくりの知識・技能、プライドを身に付けさせるとともに、自主的に学ぶ態度を育成し、意欲的に資格取得を目指す生徒を育成する。

具体的取組：

- 食品科学科では、食品の製造方法や栄養成分、食品の製造に応用される微生物などの特性を広く学び、実際に製造、加工することで技術を習得し、資格取得の意欲を醸成する。
- 工業系では、1年次に工業技術基礎などの工業共通科目を学び、興味や適性に応じた学科選択をし、それぞれより高度な専門的技術を習得し、資格取得の意欲を醸成する。

「教育課程の編成及び実施に関する方針」

良き社会人となるための教養と人間性を高め、職業上必要な基礎的知識と技術を身に付けさせ、生徒一人一人の能力に応じた学習指導を通して、資格取得を奨励し、ものづくりの知識・技能、プライドを磨く授業を充実させる。

具体的取組：

- 実習や実験等体験的な学習を多くとり入れ、生徒一人一人に応じた専門教育を実施する。
- 課題研究をさらに充実させ、課題の解決を図る学習を通して、専門的知識や技術を身に付けさせる。
- 職場体験やインターンシップ、また実習の授業において外部講師を招くなど地元企業と連携し、キャリア教育を充実する。

「入学者の受入れに関する方針」

食品科学科においては、食品の「生産」や「流通」に興味・関心が高く、その適性がある生徒。機械科、電気科、環境化学科においては、「科学技術」や「ものづくり」に興味・関心が高く、その適性がある生徒。

具体的取組：

- 専門学科の特徴を理解してもらうために、中学校への学校案内を充実させるとともに、地域から信頼されるよう地域行事等に積極的に参加する。